

「新しい市町村」への途

長 島 鐘 一

本県の町村合併も最終の段階を残すだけとなり、昭和32年は愈々新市町村の建設が全体として大きな課題となる状況になってきました。市町村において、日頃統計事務に取り組んでおられる皆様方も合併後の拡大した市町村規模を統計的に把握することの苦勞を経て、統計的資料の整備も一段落し、本来の使命である統計の利用の面への関心を高めておられることと思います。

さて新市町村建設の理念と方途を具体化させるために、さきに新市町村建設促進法が公布施行され、その中で新市町村建設計画の調整ということが、建設の第一段階として取上げられることになったことは、皆様もすでに御承知のことと存じます。また、すでに本誌上にも計画調整についてふれた文も散見されている様子でありますし、計画の調整についても大部分の方はその大要を知っていただけるものと思います。あるいは計画調整の進んでいる町村では、すでに実際に仕事にたづさわつた方もおいでのことと存じます。

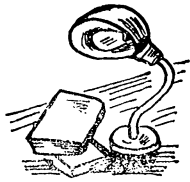
そこでここでは建設計画の調整をどのようにすべきかというような点を全般的に取上げることがやめにして、従来とも問題とされることの多かつた、いわゆる調査のための調査あるいは机上計画といった、特に統計の仕事をやっておられる方々の経験と知識によつて反省は正すべき点についてふれてみたいと思います。

まず、今回の建設促進法にもとづく計画調整の段階として、基礎調査、基本計画、実施計画の三段階にわけを行うこととなつていることは御承知のことと思います。そしてここで取上げようとする問題は基礎調査と基本計画に関連してくる問題であります。まづこの点を端的に表現すれば、新市町村の地域の現況を基礎的かつ科学的に調査分析し、それに基づいて、新市町村建設の基本的な構想とおおむね十年にわたる建設経営の具体的な方策を基本計画として樹立するということになります。そして第1の基礎調査に関連する問題は、戦後の数多い統計調査の実施と、統計への関心の増大にもかかわらず、真に科学的な調査への理解の不足が依然として存在することです。すなわち統計調査をその対象と調査方法、及びそれによつて得らるべき結果とその利用にわたつて全体を検討して、調査を実施するのではなく、求められた

調査表を数字によつて埋めれば事終れりとする安易な統計作成の態度が意外に強く残つていることであります。そしてまた一方ではわざわざ金と時間をかけて基礎調査などを行わなくても、自分の市町村の建設の方向や問題点位はわかつていると考えている人も少くないこともあります。そのような人は案外、自分の経験やカンが果して正しいか否かを反省することもなく、調査資料等も棚にほおり出してほこりをかぶらせておくといつたことが多いように見えます。また調査に熱意を持つ人の中には調査の実際的効果よりも統計調査自身が完成した体系化されたものとなつて、統計調査の結果自体が立派なものとも見えなければ我慢ができないというような考えで、調査の目的とズレが生じても一向に省みずに調査を楽しんでいるような人も、なきにしもあらずであります。このような調査への態度は、いづれも「調査のための調査」への危険を多分に持つており、また今後の建設経営を進めてゆくためにも感心できない考え方であると思います。そしてまた基礎調査に対するこのような考え方が基本計画の作成に当つてとられる場合には、当然に、「計画のための計画」が作成され「机上計画」が生まれてくることになる危険を持つということができましよう。

読者の皆様方の中には、今更こんな文句を聞かされる必要はないとお考えの方もかもしれませんが、それがこんな状態を卒業してしまつてからという理由であるならば大変に喜ばしいことと思います。この新市町村建設計画の調整の仕事は、単に知事との協議を了えて調整の手続きを終れば、それで終りとなるような事務的な仕事に止るものではありません。長期にわたる建設経営の構想という、自治体の基本的な経営に連なる大きな理想、自治制度の根本的な理念を実現するための一つの機会となるべき仕事であります。すなわちこの仕事を通じて自治経営への新しい意識を実現させてゆくことも大きな目的の一つであります。そのためには単に統計事務の面からだけでなく、基礎調査を行うということだけでなく、統計事務の上に培われた分析的である一面に総合的なものの見方を十分に活用されて、皆様が今後の自治経営の方となられることを念じて筆をおきます。

(筆者は総務部地方課員)



(統)(計)(用)(語)(の)(解)(説)

〔粉飾預金〕 窓口預金（ウィンドードレッシング）ともいい、銀行が期末などに特別な操作をして一時的に帳簿上の預金高をふやす一種のみせかけ預金のことである。たとえば期末最終日にA、B両銀行が互いに小切手を振出してそれぞれの当座に振込み、粉飾の上翌日は手形交換所で両小切手を決済して預金を解消させる

方法や、貸出した金を預金に回させる両建預金の方法もある。

〔無償株〕 会社の固定資産を従来の低い帳簿価格から評定し直し（再評価）、それで生れてきた資本金の増加分（再評価益金）を株式として株主に無償で交付するものである。

編 集 室

◎神武天皇以来の好景気といわれるような平和で幸福の中に、私たちは明るい1957年の初春を迎え、心機一転、ここに心身を清めて新しい希望に満ち溢れる一年の門出をしたのである。すがすがしく潮気漂う海のかなたにしずしずと昇る初日の光は、いつもの太陽と変りないはずなのに、私たちは身も心も洗い清められるような感じになるのは誠に不思議である。暦法の魔術とはよくいつたものである。昔の人は実に偉いなとただ感じ入るのみである。あの火の神に一年の幸福を祈るうやうやしい気持、つつしみ深い人間の悟りの心境かも知れない。「光陰矢の如し」、「一年の計は元旦にあり」とか誠に古臭い言葉ではあるが、私たちは常に過去を省み、寸刻を惜しんで新しい計画とたゆまぬ努力をつづけ、さらにより良い社会を作るために前進しましょう。本誌も発刊以来いよいよ5年目に入ったが、皆様の御指導と御協力によつ

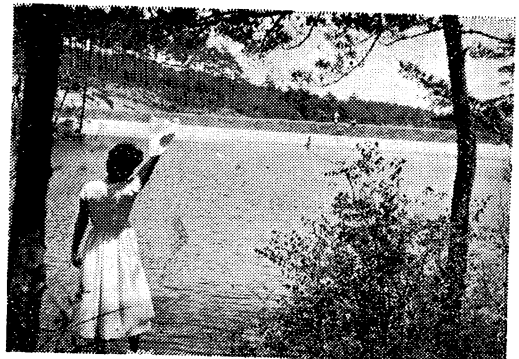
て、本県唯一の統計機関誌としての使命を十分果たして行くように努力する覚悟です。なお表紙の写真は大洗海岸の初日であります。

投稿 観 迎

- 〔内容〕 調査統計に関係するもの又は随想、創作など
- 〔枚数〕 原稿用紙は指定しないが、4,000字程度以内を歓迎します。
- 〔あて名〕 水戸市北三の丸
茨城県調査企画課内
茨城県統計協会
なお採用の分には薄謝を贈ります。



(めん羊の飼育)



(改修成つた弁天池)